

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立安岡小学校

学年での指導体制と交流活動の充実

学年共通の指導体制や様々な交流活動を通して、安心して、希望をもって学校生活をスタートさせる。

学年全体の教員の連携による一貫した指導体制

うしろの たなの おきかた



教室後方の棚の使い方を示し、物を整えて入れるように促します。

年度初めには、引き出しの中の道具の入れ方を、毎朝、黒板に掲示しておきます。



すいえいの やくそく(おわり)

・ぼうし、ゴーグルをみずぎに はさんで、シャワーを あびる。
(あたま、おなか、せなか、おしり、あしを あらう。)



- ・タオルで からだをよくふく。
- ・だまって、きょうしつにもどり、きがえる。
- ・みんなが きがえおわるまで、きょうしつからでない。

水泳の学習が始まる前には、学活の時間を使って、各学級で、共通の注意事項を指導しておき、ルールが徹底するようにします。

成果

○入学後、ものの置き場や片付け方などを掲示物で分かりやすく示すことが、安心して学校生活をスタートさせることにつながっていた。

○学年全体で一貫して共通の指導をすることで、全クラス(5クラス)同じ歩調で習慣付けたり、ルールの徹底につなげたりすることができた。

幼児、異学年、異年齢との交流活動の充実



3年生児童による絵本の読み聞かせを、集中して聞くことができました。

幼児との交流会で、玉入れやダンスをして楽しく関わることができました。



地域の方を先生として招き、昔遊びの指導をしていただきました。

成果

○人との出会いや、関わることの喜び、学校生活の楽しさなどに気付くことで、希望をもって学校生活初年度をスタートさせることができた。

○異年齢との交流活動を通して、自分の成長に気付いたり、憧れの気持ちを抱いたりすることで、自信や意欲を高めることができた。

